

「すこやか安心カード」発行機の設置を審議

久御山町議会常任委

法人との連携必須、職員への負担は

しいなければ住民は職

久御山町議会の民生教育常任委員会(塚本五三藏委員長)が13日に開かれ、一般会計補正予算などが報告された。その後行われた協議会で、地域共通診療券「すこやか安心カード」発行機の設置などについて報告、審議された。

い為、発行機設置や電機代、人件費費用などは町の負担にはならない。京都医師会所属の医療機関が対象で、町内では6医療機関中、5医療機関の承認を得ているという。

三宅美子委員(共産党)は「個人情報保護の対策はどうなっているのか」と質したが町は、法人が対応しているとの回答。

林勉委員(清風会)が「オペレーターは本当に常時いるのか。も

「すこやか安心カード」は、NPO法人日本サステイナブル・コミュニケーション・センター(以下SCCJ)が総務省の補助のもとに開発、推奨しており、1枚の診療券で複数の医療機関を受診できるもの。久御山町、京都市宇治市、城陽市の3市1町が連携しており、対応医療機関なら共通の診療券として利用できる。

担当課の長寿健康課の説明によると、町としての取り組みではな

員を頼るしかないのので職務に支障がでる。法人としっかりとその部分の連携を取るべき」と質問。町は「職員に対する負担はないと聞いているが、さらに法

人と話し合いを進めた」と回答するにとどまった。
カード発行機一式は11月1日に庁舎1階ロビーにて設置予定。

【池田和司】